

玉入れで世代間交流 第2回町民玉入れ交流大会開く

町 総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会（青木佐智子委員長）が、1月31日、あぶた体育館で、第2回町民玉入れ交流大会を開催しました。

1チーム6人で、小学校低学年の部、同高学年の部、一般とシニアの各部に計17チームが参加しました。



集中してかごに玉を入れる子どもら

ルールは、3分間の制限の中で、どれだけ早く、50個の玉（一般は100個）を頭上のかごに入れられるかを競争。

参加者は「玉入れといってもあなどれない。相当ハードな運動」と日頃の運動不足を悔やんでいました。

ママさんバレー大会 西胆振地域から10チーム参加

第30回洞爺湖町長杯近隣市町家庭婦人バレーボール大会が、2月10日あぶた体育館で開催され、西胆振の地域から10チームが参加し、パワー炸裂の熱戦が展開されました。

本町からは、チーム洞爺湖とヴィーナスが参戦し、両チームとも予選リーグを突破し、決勝トーナメントに進出しました。

ヴィーナスは、残念ながら1回戦で敗退。洞爺湖は、1回戦を勝利して、2回戦に進みましたが、優勝した伊達若草チームに、19対21、6対21の0対2で惜敗し、3位となりました。



強烈なアタックを決めるチーム洞爺湖

節分の日に

合わせて、2月5日認知症老人の共同生活施設「なかよしの家」（半田寿子管理者）に虻田小学校の児童が訪れ、お年寄りといっし



豆まきでお年寄りとの交流

よに豆まきを楽しみました。

同施設を訪問したのは、総合学習の中で、福祉のコースを選択した4年生11人。

扮装した鬼にめがけ、「鬼は外」と大きな声をあげ豆をなげつけ、鬼を撃退しました。

引き続き、ゲームなどを行い、施設のお年寄りらを喜ばせていました。

虻小児童老人施設訪問 豆まきでお年寄りとの交流

お菓子作りを通して火山の仕組みを理解してもらおうと「美味しい火山のお話」が、2月20日洞爺湖ビジターセンター・火山科学館で開かれ、近隣市町村から親子連れなど21人が参加して、美味しい火山を作り上げました。

同センター職員の藤井安澄さんを講師に、ココアとチョコレートを使って「溶岩ドーム」を再現したり、練乳とココアで「カルデラ」を作り上げました。



美味しそうな火山を見つめる子どもら

子ども達は、お菓子が火山へ変貌する様子を、興味津々に眺めていました。

お菓子の火山作りに大喜び 親子連れなど21人が参加

まちのわだい

